

火災が発生する前に熱源を検知

発火監視システム

コンベア等の狭領域～ピット・ヤード等の広領域まで
幅広く対応し予防保全に大きく貢献します

処分場のピット内では、様々な原因で火災が発生することがあります。また、外部から何も刺激を受けなくても稀に発熱したり、野外ヤードでは諸条件により自然発火することがあります。赤外線カメラによる監視により、火災が発生する前に熱源を検知することで、事前に対策をとることができます。

今後、起こりうる危険な状況や損害の発生を防ぐことができるのが、発火監視システムです。



用途

- 資源化・破碎工場等のコンベア
- 清掃工場のごみピット
- バイオマス発電所の貯留施設
- 貯炭場の貯炭ヤード
- チップ工場の生産ライン



赤外線カメラ



熱画像

(イメージ画像)

効果

熱源をカメラで検出し、設定温度を超えた場合に警報を出力します。発火を初期段階で検出し発報、迅速な消火作業等が可能です。高速画像撮影（最大60Hz）により秒単位判定。

IoT & パケット通信で社会に貢献する

 株式会社 エルムデータ

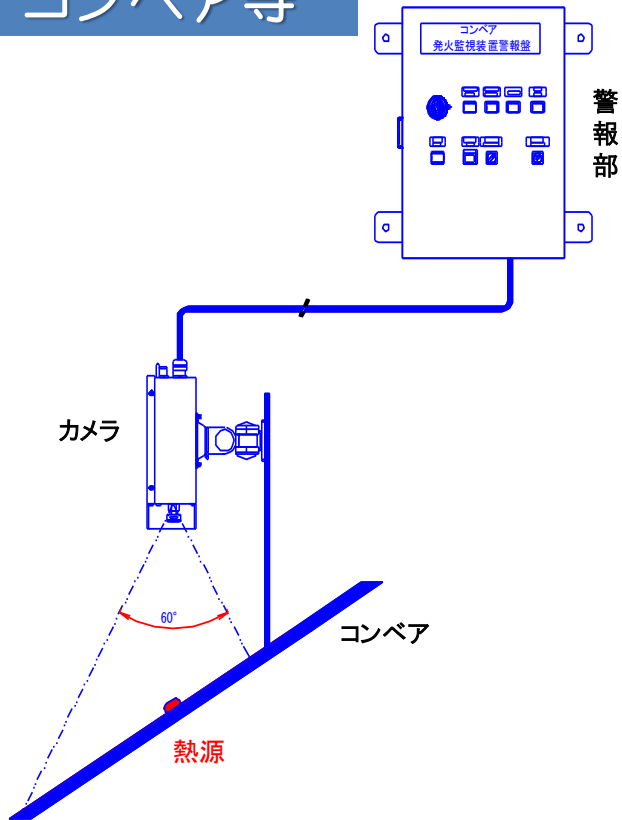
〒004-0015 札幌市厚別区下野幌テクノパーク1丁目2番15号

TEL:011-898-7077 FAX:011-898-7078

<https://www.elmdata.co.jp> mail:sales@elmdata.co.jp



コンベア等

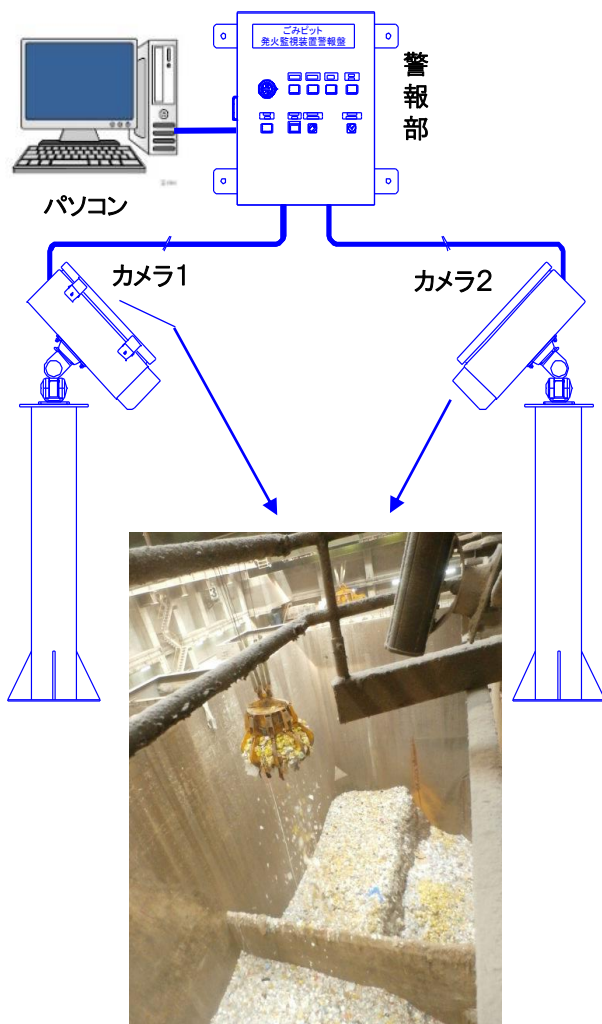


コンベア上に流れる対象物の熱源を検出

設定温度を超えた場合、警報部はランプ・ブザーで報知

消火する為の散水機器と連動・消防への通報

ピット・ヤード等



ピット・ヤードの熱源を検出

設定温度を超えた場合、警報部はランプ・ブザーで報知
パソコンは熱画像を保存、アプリケーションソフトで熱源場所を特定することが可能

消火する為の散水機器と連動・消防への通報